

街の活力は
自立と創造から

あのまちこの街

売れても古い商店街

空き店舗の新しい活用策は 地域ゆかりのテーマに着目



福島聖天通 商店街振興組合 (大阪市福島区)



▲うららちゃん

「古い館」を5つ開設し 話題づくりと集客に成功

注目を集めるエリア

振興組合設立から二年たった平成十三年三月、まずハード事業に着手。街区の三十九本の街路灯を建て替えた。

さらに街路の愛称「遊歩UFO」にちなんだ五基のアーチを新設。同年十二月には街路のカラー舗装を実施した。

近年、阪神福島駅の地下化によってできた跡地にホテル阪神が移転開業した。それに伴いデザイン

実績ある古い師を招致

テーマは「古い」になった。江戸後期に活躍した観相家・水野南北(みずのなんぼく)が放蕩無

たという。

ゆかりの人物の功績が商店街の活性化に役立つのではないかと、目をつけたのが草野則一(くさののりいち)副理事長。さらに、十年ほど前のイベントで、趣味で占いを勉強していた喫茶店のマスターが、占いの露店を出し盛況だったこともヒントになった。

だがプロの占い師を呼ぶには日当が高すぎる。思案しているうちに数年が経過した。平成十三年、コンサルタント会社を雇い、古い商店街をつくる

検討を開始。同時に、協力できる古い師をホームページで探した。

翌十四年に古いをテーマにしたイベント「売られても古い商店街」を開催。協力した古い師二十

二人がブリスことと並んだ。新聞の告知も奏功し行列が切れないほど人が押し寄せ、時間を延長して三、四号館を開いた。

登録している古い師は百六十人。全員が、経験八年以上などの条件をクリアしたプロである。

「売られても古い商店街」ののほり型携帯ストラップ、大吉コロッケ、開運ネク

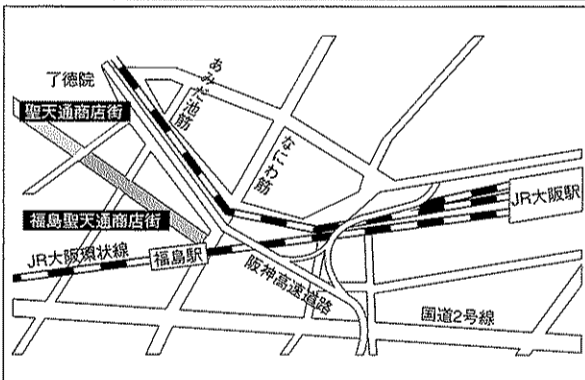
「売られても古い商店街」ののほり型携帯ストラップ、大吉コロッケ、開運ネク

「売られても古い商店街」ののほり型携帯ストラップ、大吉コロッケ、開運ネク

「売られても古い商店街」ののほり型携帯ストラップ、大吉コロッケ、開運ネク

「売られても古い商店街」ののほり型携帯ストラップ、大吉コロッケ、開運ネク

「売られても古い商店街」ののほり型携帯ストラップ、大吉コロッケ、開運ネク



占いサービス提供店を表示

占いに興味を持って一回千円、一年で卒業。昨年十一月には、卒業生

の声を来街者からあがった。そこで占いの教室を開催することとした。

占いの講座「占い大楽(うらなひ)は大学」は

「売られても古い商店街」ののほり型携帯ストラップ、大吉コロッケ、開運ネク

「売られても古い商店街」ののほり型携帯ストラップ、大吉コロッケ、開運ネク

「売られても古い商店街」ののほり型携帯ストラップ、大吉コロッケ、開運ネク

「売られても古い商店街」ののほり型携帯ストラップ、大吉コロッケ、開運ネク

「売られても古い商店街」ののほり型携帯ストラップ、大吉コロッケ、開運ネク

「売られても古い商店街」ののほり型携帯ストラップ、大吉コロッケ、開運ネク

「売られても古い商店街」ののほり型携帯ストラップ、大吉コロッケ、開運ネク

予約券呈示で各種サービス

小学生から高校生まで修学旅行生の誘致も盛んだ。市内では同商店街のほか、道具屋筋、コリアタウン、天神橋筋と四商店街で実施している。

体験学習で商人体験ができた。人相・手相の教室を受講できる。二時間の行程の最後には、生

「売られても古い商店街」ののほり型携帯ストラップ、大吉コロッケ、開運ネク

「売られても古い商店街」ののほり型携帯ストラップ、大吉コロッケ、開運ネク

「売られても古い商店街」ののほり型携帯ストラップ、大吉コロッケ、開運ネク

「売られても古い商店街」ののほり型携帯ストラップ、大吉コロッケ、開運ネク

「売られても古い商店街」ののほり型携帯ストラップ、大吉コロッケ、開運ネク

「売られても古い商店街」ののほり型携帯ストラップ、大吉コロッケ、開運ネク

「売られても古い商店街」ののほり型携帯ストラップ、大吉コロッケ、開運ネク

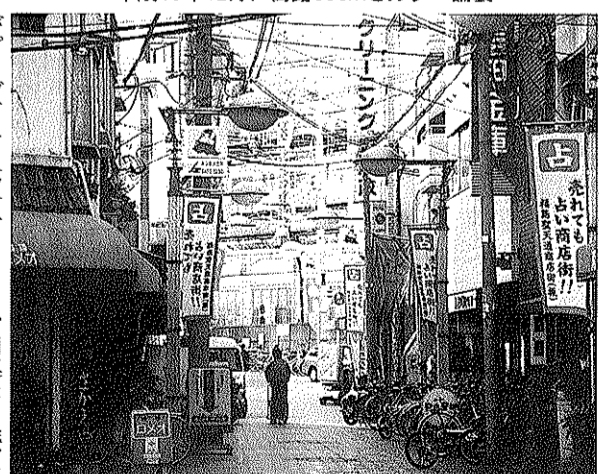
「売られても古い商店街」ののほり型携帯ストラップ、大吉コロッケ、開運ネク

「売られても古い商店街」ののほり型携帯ストラップ、大吉コロッケ、開運ネク

「売られても古い商店街」ののほり型携帯ストラップ、大吉コロッケ、開運ネク



平成13年12月、街路330mをカラー舗装



「売られても古い商店街」ののほりを街路の両側に掲示



隣接する聖天通商店街との協力も強化

同商店街は、聖天了徳院への参詣道として、古くから発展。「北の心齋橋」といわれた。縁日には近隣各地からの人出で賑わう。

心齋橋・九条新道・天神橋筋と並んで戦前は大阪四商店街の一つだった。しかし戦後は戦禍とライフスタイルの変化で来街者が減少し、特徴のない商店街となっていた。

近年、西梅田地区大規模開発に伴い、周辺に新しいスポットがオーブン。若者の注目を集めるようになった。

同商店街は平成十一年、法人化を果たしイベントに積極的に取り組んだ。地域ゆかりの人物に目をつけ、「売られても古い商店街」として人気を集めている。

「売られても古い商店街」ののほり型携帯ストラップ、大吉コロッケ、開運ネク

「売られても古い商店街」ののほり型携帯ストラップ、大吉コロッケ、開運ネク

「売られても古い商店街」ののほり型携帯ストラップ、大吉コロッケ、開運ネク

コラム

福島聖天通商店街の周辺は歴史を感じる。福沢諭吉(一八三五―一九〇一年)は日本を代表する啓蒙思想家。豊前國中津藩藩士・福沢百助の次男として、大阪市福島区にあって蔵屋敷で生まれた。論吉の肖像が新一万円札に登場したのを記念した昭和五十九年秋、新しい石碑を建立した。「浦江の聖天さん」の名で親しまれている「如意山了徳院」。江戸時代初期、浦江は一面の湿地帯でカキツバタの名所であった。境内には松尾芭蕉の句碑「かきつばた語るも旅のひとつ哉」がある。